

行政視察報告書

平成28年10月5日

委員会名		議会広報広聴常任委員会
参加者	委員長	鈴木 敦子
	副委員長	川崎 雅一
	委員	木村 正彦 浅野 彰太 神戸 秀典 今村 洋一 井原 義雄
期間		平成28年8月2日(火)～3日(水)
視察地、 調査項目 及び概要	三重県 伊勢市	<p>1. 議会だよりについて</p> <p>(1) 議会だよりの編集について</p> <p>「いせ市議会だより」は、平成17年11月の伊勢市、二見町、小俣町、御園市の1市2町1村の対等合併後、平成18年2月1日に第1号が発行されており、平成28年8月現在、第43号まで発行されている。</p> <p>年間の発行回数は基本的に4回で、「伊勢市議会広報規程」の第2条第4項に「定例会の閉会日の属する月の翌月の初日に発行する。ただし、特に必要があるときは、発行期日を変更し、又は臨時に発行することができる。」と定められている。3月定例会の内容は5月1日号、6月定例会の内容は9月1日号、9月定例会の内容は12月1日号、12月定例会の内容は2月1日号が基本となるが、2月1日号は、閉会日が12月末になること、正月休みを挟むことから、2月15日号として発行されている。</p> <p>議会だよりは、伊勢市内の各世帯に配布されており、最新の第44号の発行部数は、5万3,500部を予定している。4色カラー刷りが表紙、裏表紙となり、中の記事は2色刷りの18ページ構成となっている。1部当たりに換算すると14.4円となる。</p> <p>編集の体制は、「伊勢市議会広報規程」により、いせ市議会だより発行委員会が設置され編集作業を行っている。委員長は、副議長の充て職とし、3名以上の会派から1名ずつ推薦し、全員協議会で議長指名をされる。現在は正副委員長含めて5名で構成されている。</p> <p>委員会は各号の編集のため3回開催されている。初回は、定例会初日に開会し、発行日程を決定する。2回目では、定例会最終日に紙面構成の審議、表紙の協議を行う。3回目では、第2稿を作成した段階で、再度委員会を開会（概ね翌月の中旬）し、委員会で原稿の審査・校正を行う。掲載写真の検討（質疑、一般質問等、発言内容あるいは予算、決算特別委員会の審査内容に関係のある事項の写真選定）も行う。原稿の審査・校正後は、再度事務局で校正し、大幅な変更は正副委員長と調整をする。</p> <p>今後、「議会のあり方調査特別委員会」が設置され、専門的に協議・検討をする下部組織の広報検討分科会で議会だよりを担当していくことになる。</p> <p>(2) 審議した主な議案の掲載について</p> <p>年4回発行の共通の掲載内容として、定例会の概要、定例会の日程、審議した主な議案の内容、本会議で審議した案件とその結果、議案質疑に加え、一般質問、意見書・決議文の要約又は全文、議会日誌（開会した会議等）、編集後記がある。なお、議案審議、一般質問は議員自らが作成している。</p> <p>時期によって掲載するものとして、5月1日号には、予算特別委員会関係記事、新年度予算、特別委員会委員構成、特別委員会審査報告等を掲載している。9月1日号には、政務活動費収支報告、各常任委員会の視察報告等がある。2月1日号には、議会の人事、正副議長の就任挨拶、議会選出監査委員、各常任委員会の構成、議会運営委員会の構成、その他の委員会の構成を掲載している。</p> <p>特徴的なものとしては、審議した主な議案の内容を掲載している。予算については、金額の大きいもの、住民生活に影響が大きいものを中心に記事として取り上げている。</p> <p>(3) その他議会だよりを活用した広報広聴の取組について</p> <p>議会報告会の開催の通知等を行っている。今後も新たな取組を検討している。</p> <p>2. その他取り組んでいる広報広聴活動について</p> <p>広報活動として、議会報告会を年2回行っている。（平成28年度は、「議会のあり方調査特別委員会」設置のため行っていない。）</p> <p>広聴活動として、商工会議所との意見交換会を実施している。今後の活動については、「議会のあり方調査特別委員会」の下部組織の広聴検討分科会で検討していくこととしている。</p>
視察地、 調査項目 及び概要	三重県 志摩市	<p>1. インターネットの活用について</p> <p>(1) 会議録検索システムについて</p> <p>本会議及び各委員会の議事録は、志摩市議会のホームページ上で公開されており、平成17年11月以降の本会議と委員会の会議録の検索・閲覧が可能となっている。効果としては、審議や議論の過程を可能な限り公開し、議会活動の透明性の向上、議会の積極的な情報公開等、議会広報の有効な手法として活用している。アクセス件数は、平成26年に1,980件、平成27年に2,089件であり、今後もアクセス件数を伸ばすことを目標としている。経費の実績は、会議録の調製及び検索システム委託を合わせ、</p>

平成27年度で401万3,064円となっている。

会議録作成のフローとして、会議終了後、音声データと会議資料を委託業者に送付する。校正を経ておよそ3箇月後に会議録として納品され、ホームページ上で公開される。

(2) その他インターネットを活用した広報広聴の取組について

ア インターネット環境の整備

議会のフロアの無線LANを整備し、各議員がインターネットを利用し、様々な関連資料を閲覧できるようになっている。質疑に関連する情報の確認をすることにより、幅広い視点からの議論を可能にし、効果的な審査につながっている。経費の実績は、平成27年度で5万8,320円となっている。

イ グーグルカレンダーの活用

スケジュールの管理・共有のため、グーグルカレンダーを活用している。議会事務局で把握している議会のスケジュールをリアルタイムで共有するため、現在19名の議員のうち、17名の議員が利用している。経費については掛かっていない。

ウ 録画放送のインターネット配信について

本会議は、当日、市役所庁舎1階のロビーで放送されているが、現在はインターネットによる配信は行っていない。録画放送は、一般質問についてのみケーブルテレビで行っている。インターネットによる配信は、議会活動の透明性の向上を図る有効な手段であるため、常任委員会を含め、配信方法や内容等の検討・研究を進めている。

2. 議会だよりについて

(1) 議会だよりの概要について

「しまし議会だより」は、志摩市が合併した平成16年10月の約半年後の平成17年3月に創刊され、平成28年8月現在、第46号まで発行されている。

発行日は、定例会終了後から約1箇月半後となっている。定例会は、6月1日、8月15日、11月15日、2月15日の年4回発行している。臨時号は、12月15日の年1回発行している。発行部数は、1回あたり1万8,300部となっている。

規格は、A4版11字詰めの32行で6段組となっており、1回あたり概ね26ページとなっている。臨時号は概ね8ページとなっている。表紙と裏表紙のみがカラー印刷で、それ以外は、黒と緑の2色刷りの写植オフセット印刷を行っている。印刷業者との契約は、市内の業者による入札で、今年度は1ページあたり0.8円となっている。印刷製本の発行予算は、212万6,000円となっている。

(2) 議会だよりの編集について

議員7名による議会広報特別委員会を設置し、編集を行っている。

一般質問のページは、1議員につき1ページを確保しており、議員名と顔写真、質問の関連写真(2カット)を掲載している。まず質問した議員自らが1,200字以内で原稿を作成し、議会事務局で字句等を調整する。その後、様式に当てはめたものを担当委員が会議録粗出しを基に内容を確認し、委員会で校正する。

一般質問以外のページは、議会事務局で作成し、議会広報特別委員会で協議し校正する。一回の発行につき、委員会は2回開催されている。

編集方針は、市民が親しみを持てる開かれた市議会を構築するため、その情報発信の場となることとしている。

掲載記事として、表紙には第25号から第36号の12回の3年間に「志摩の人物史」を、第37号から第46号の10回に「志摩の句碑・歌碑」をシリーズ化して掲載している。少なくとも1年間から2年間は、同じテーマの連載を継続することとしている。

特集ページには、大きくスペースを取り、それぞれの定例会における市民の関心の高いテーマや重要度の高い議案の動向が掲載されている。

議案の審議結果一覧には、全会一致で議決した議案と賛否が分かれた議案、議員の賛否一覧を掲載している。常任委員会の審査については、委員長報告を基に要約した委員会における主な質疑を掲載している。

裏表紙には、市外から市内へ移住された方々を紹介する「こんにちは志摩びとさん」、議員が参加したイベント等を紹介する「議会トピックス」を設け、市民に少しでも議会に関心を持ってもらえるような工夫した取組を行っている。

3. その他取り組んでいる広報広聴活動について

志摩市では、平成16年10月の旧志摩郡5町合併における合併協議の中で、議会のケーブルテレビによる録画放送が決定し、平成17年12月議会から実施をしている。

ケーブルテレビによる議会録画放送は、本会議での一般質問についてのみを、すべての一般質問が終了した2日後から放映している。

録画は、議会事務局職員2名が行い、音声1名、カメラ操作1名の分担となっている。カメラは固定式で、議員に対して2台、執行部に対して1台の合計3台となっている。

録画したテープについては、会議終了後にケーブルテレビ会社に持参し、ケーブルテレビ会社において編集作業を行う。

放映は、休憩の部分を除き、議会中の部分は一切編集しない。放送禁止用語等は、議長の許可により削除することができるが、事例はない。発言内容は、編集せずそのまま放映し、訂正発言も同様に放映する。

経費については、1時間あたり5,400円で、平成27年度の実績は、47.5時間で25万6,500円となっている。